

指標一覧

【旧】

取組みの柱	指標	目標値 （平成33年度）	現状値 （平成28年度）	出典
食をとoshた健康づくり	朝食を毎日食べる人の割合	青年期以外 100％に近づける 青年期 90％に近づける	青年期：69.3％ 壮年期：81.0％ 高年期：91.7％	健康づくりについ ての意識調査
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が一日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	80%	青年期：53.0％ 壮年期：58.5％ 高年期：74.8％	健康づくりについ ての意識調査
	生活習慣病及び低栄養の予防や改善のために、適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する人の割合	75%	青年期：53.6％ 壮年期：55.9％ 高年期：74.1％	
	ゆっくりよく噛んで食べる人の割合	55%	幼保児：39.8％ 小学生：52.2％ 中学生：32.6％ 16～19歳：25.6％ 青年期：40.2％ 壮年期：39.3％ 高年期：56.5％	
食をとoshた人づくり	家族そろって一日に1回以上食事をする子どもの割合	90％に近づける	3歳児：79.9％ 小6：80.0％	健康づくりについ ての意識調査
	農水産業体験を経験した人の割合	高年期以外 80％以上 高年期 50％以上	幼保児：68.5％ 中学生：77.2％ 16～19歳：79.1％ 青年期：71.4％ 壮年期：69.1％ 高年期：47.6％	
	和食や行事に合わせた食事や食事のマナー（箸使い、食べ方）などを知っている人の増加	70%	青年期：61.2％	
	和食や行事に合わせた食事や食事のマナー（箸使い、食べ方）などを知っていることを、子どもや地域で伝えてる人の増加	青年期以上 60％	16～19歳：23.9％ 青年期：44.2％ 壮年期：53.8％ 高年期：53.1％	
食でつなぐ地域づくり	地元産や県内産食材（加工品等を含む）を意識して購入する人の割合	60％以上	現状値なし	
	食育の推進に関わるボランティア数	600人	573人	
食からはじめる環境づくり	食の安全性（食中毒・食品表示・健康食品など）について基礎的な知識を持ち、自ら判断することができる人の割合	80％以上	中学生：74.4％ 16～19歳：56.7％ 青年期：72.6％ 壮年期：79.6％ 高年期：78.9％	
	食品ロス（食べ残し、買いすぎ等）軽減のために何らかに取り組んでいる人の割合	90％以上	16～19歳：79.1％ 青年期：87.4％ 壮年期：93.5％ 高年期：88.4％	

【新】

資料2

取組みの柱	指標	目標値 （平成33年度）	現状値 （平成28年度）	出典
食をとoshた健康づくり	朝食を毎日食べる人の割合	青年期以外：100％ に近づける 青年期：90％に近づける	青年期：69.3％ 壮年期：81.0％ 高年期：91.7％	健康づくりについ ての意識調査
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が一日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	80%	青年期：53.0％ 壮年期：58.5％ 高年期：74.8％	健康づくりについ ての意識調査
	生活習慣病及び低栄養の予防や改善のために、適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する人の割合	青年期：55％ 壮年期：60％ 高年期：80％	青年期：53.6％ 壮年期：55.9％ 高年期：74.1％	
	ゆっくりよく噛んで食べる人の割合	幼保児：50％ 小学生：55％ 中学生：50％ 16～19歳：40％ 青年期：55％ 壮年期：55％ 高年期：60％	幼保児：39.8％ 小学生：52.2％ 中学生：32.6％ 16～19歳：25.6％ 青年期：40.2％ 壮年期：39.3％ 高年期：56.5％	
食をとoshた人づくり	家族そろって一日に1回以上食事をする子どもの割合	90％に近づける	3歳児：79.9％ 小6：80.0％	健康づくりについ ての意識調査
	農水産業体験を経験した人の割合	高年期以外：80％ 以上 高年期：50％以上	幼保児：68.5％ 中学生：77.2％ 16～19歳：79.1％ 青年期：71.4％ 壮年期：69.1％ 高年期：47.6％	
	和食や行事に合わせた食事や食事のマナー（箸使い、食べ方）などを知っている人の増加	70%	青年期：61.2％	
	和食や行事に合わせた食事や食事のマナー（箸使い、食べ方）などを知っていることを、子どもや地域で伝えてる人の増加	16～19歳：増加傾向へ 青年期以上：60％	16～19歳：23.9％ 青年期：44.2％ 壮年期：53.8％ 高年期：53.1％	
食でつなぐ地域づくり	地元産や県内産食材（加工品等を含む）を意識して購入する人の割合	60％以上	現状値なし	
	食育の推進に関わるボランティア数	600人	573人	
食からはじめる環境づくり	食の安全性（食中毒・食品表示・健康食品など）について基礎的な知識を持ち、自ら判断することができる人の割合	16～19歳：65％ 16～19歳以外：80％以上	中学生：74.4％ 16～19歳：56.7％ 青年期：72.6％ 壮年期：79.6％ 高年期：78.9％	
	食品ロス（食べ残し、買いすぎ等）軽減のために何らかに取り組んでいる人の割合	16～19歳：85％ 青年期：90％ 壮年期：100％に近づける 高年期：90％	16～19歳：79.1％ 青年期：87.4％ 壮年期：93.5％ 高年期：88.4％	